

5. セアカゴケグモに関する取組

5-1. 今年度の取組概要

今年度からセアカゴケグモ早期発見・防除計画に定めた目標「セアカゴケグモの侵入防止」を達成するため、侵入状況の調査等の取組を実施した。

調査にあたり、セアカゴケグモはすでに広く全国に分布しており、物流を通じて港湾等に侵入・定着する可能性が高いと想定し、以下に情報を整理した。

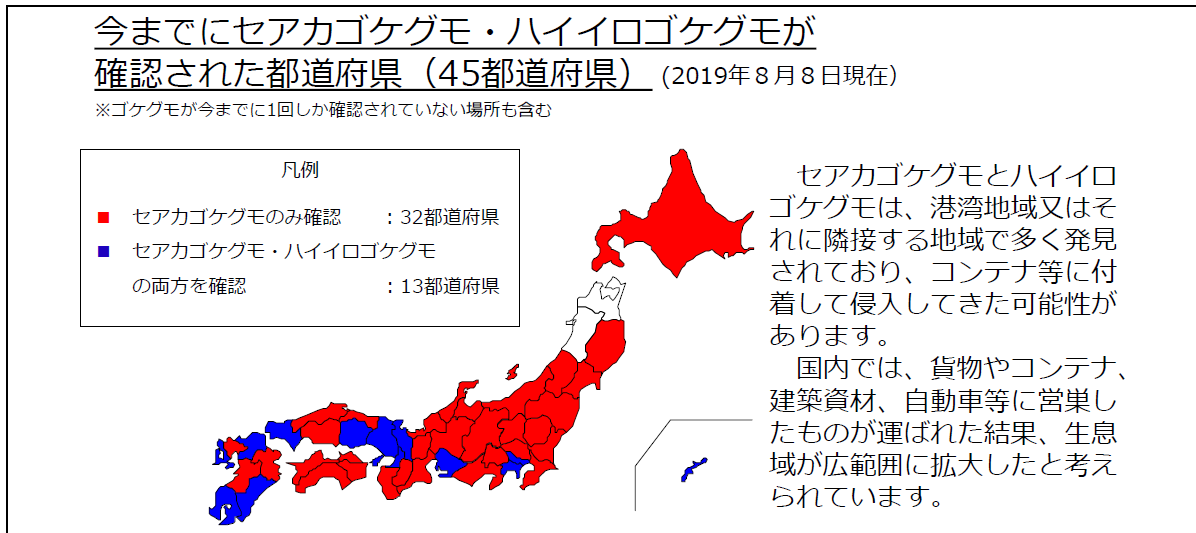


図 5-1.1 セアカゴケグモ・ハイロゴケグモの分布域（2019年8月8日現在）

出典：セアカゴケグモ・ハイロゴケグモにご注意ください！（制作：環境省外来生物対策室）

抜粋

沖縄県内の主要港である那覇港で見ると、南から鹿児島、福岡、大阪、名古屋、東京などと定期・不定期航路が結ばれている。

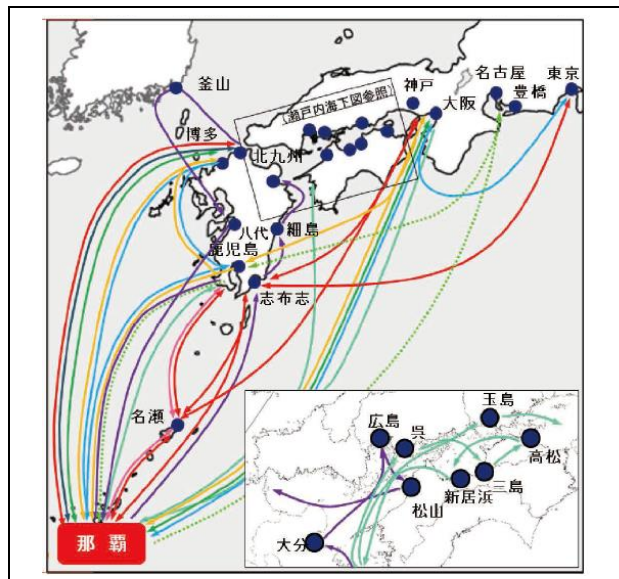


図 5-1.2 那覇港における県外定期・不定期航路（令和3年12月1日現在）

出典：2022年/2023年 那覇港要覧（抜粋）

那覇港への移入量（国内貨物）を見ると、福岡、大阪、東京、鹿児島 の順である（沖縄県内を除く）。移入される品種で見ると、取合せ品が最も多く、次いで完成自動車。製造食品、輸送機械（フェリー車・）、セメントの順である。

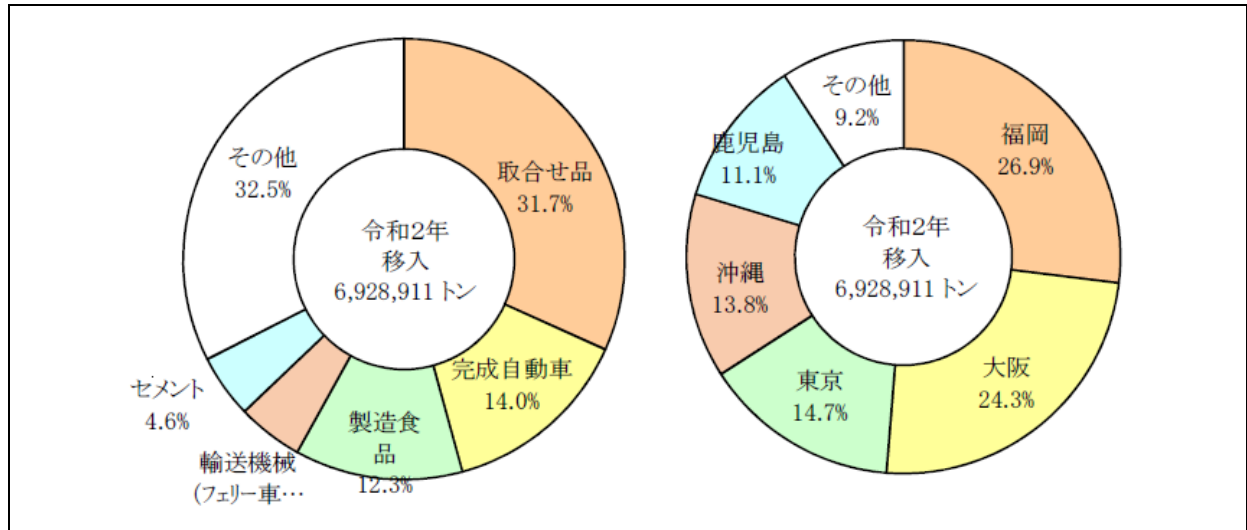


図 5-1.3 移入貨物県別・品種別構成図

出典：那覇港の統計（令和2年）（那覇港管理組合）

表 5-1.1 港湾調査に用いる品種

取合せ品	引越荷物、郵便物、小荷物、内外航船舶の小口混載貨物
完成自動車	完成自動車、シャーシ
製造食品	肉製品、酪農製品、缶詰、菓子、調理冷凍食品、調味料
その他輸送機械	自転車その他車両、船舶、飛行機
セメント	ポルトランドセメント、高炉セメント、他のセメント

港湾調査に用いる品種 <https://www.mlit.go.jp/k-toukei/kowanhinsyubunrui.html> より作成

セアカゴケグモはすでに全国各地に生息しているものの、鹿児島県では多くの発見事例がハイイロゴケグモであった。このため、東京や大阪、福岡と比較すると、鹿児島県から沖縄県にセアカゴケグモが侵入するリスクは低いと考えられる。

東京や大阪、福岡からの定期船等は浦添ふ頭地区や新港ふ頭地区に着岸し、鹿児島からの定期船等は那覇ふ頭地区に着岸する。

表 5-1.2 那覇港へ移入量の多い都府県におけるゴケグモの発見状況

東京都	発見情報等が整理されている HP は見つからなかった	東京都 HP
大阪府	発見情報等が整理されている HP は見つからなかった	大阪府 HP
福岡県	福岡県内（保健所設置市の北九州市、福岡市、久留米市を除く）のセアカゴケグモの発見件数として H20～R1 年度まで 241 件。R2 年度は 159 件。R3 年度は 201 件。 福岡市では H31 年度からゴケグモとして整理。 北九州市では H7 から 61 件の確認。そのうちセアカゴケグモは 58 件、ハイイロゴケグモは 3 件。 久留米市では H20 年から 6 事例。全てセアカゴケグモ。	福岡県 HP 福岡市 HP 北九州市 HP 久留米市 HP
鹿児島県	H13 年から 55 件の確認。そのうちハイイロゴケグモが 51 件。セアカゴケグモは 4 件。	鹿児島県 HP

東京都 HP

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kankyo/eisei/yomimono/nezukon/seaka_haiiro.html

大阪府 HP

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyoeisei/seaka/index.html>

福岡県 HP

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/seakagokegumo.html>

福岡市 HP

https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/seikatsueisei/life/kurashinoeisei/seakagokegumo_2_2_2_2.html

北九州市 HP

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18400023.html>

久留米市 HP

<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2030kanyougomi/3210gairai/shu/files/seakakurume.pdf>

鹿児島県 HP

<http://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/gokegumo.html>

以上を踏まえ、那覇港においては、浦添ふ頭と新港ふ頭の定期船等が接岸する岸壁近くにある倉庫等周辺の事業者敷地内においても集中的に調査を行うこととした。その際、各港湾関係者への周知とともに、似たクモ類を見かけたら、サンプル保存とともに写真撮影、メールなどの連絡を依頼した。

5-2. セアカゴケグモの侵入監視（モニタリング調査）

(1) 調査方法

県内の港湾（那覇港、本部港、中城湾港、平良港、石垣港）や空港（那覇空港、石垣空港、宮古空港）の周辺を中心として、建物周囲、倉庫内などにおいてセアカゴケグモの生息状況について目視調査を実施した。

表 5-2.1 調査日一覧

調査場所	調査日
本部港	2022年8月6日
中城湾港	2022年8月6～7日
那覇港	2022年8月18～19日
那覇軍港（周辺）	2022年8月9日
那覇空港	2022年8月9日
宮古空港	2022年9月8日
平良港	2022年9月8～9日
石垣空港	2022年9月9日
石垣港	2022年9月9～10日



写真 5-2.1 目視調査によるセアカゴケグモの侵入監視

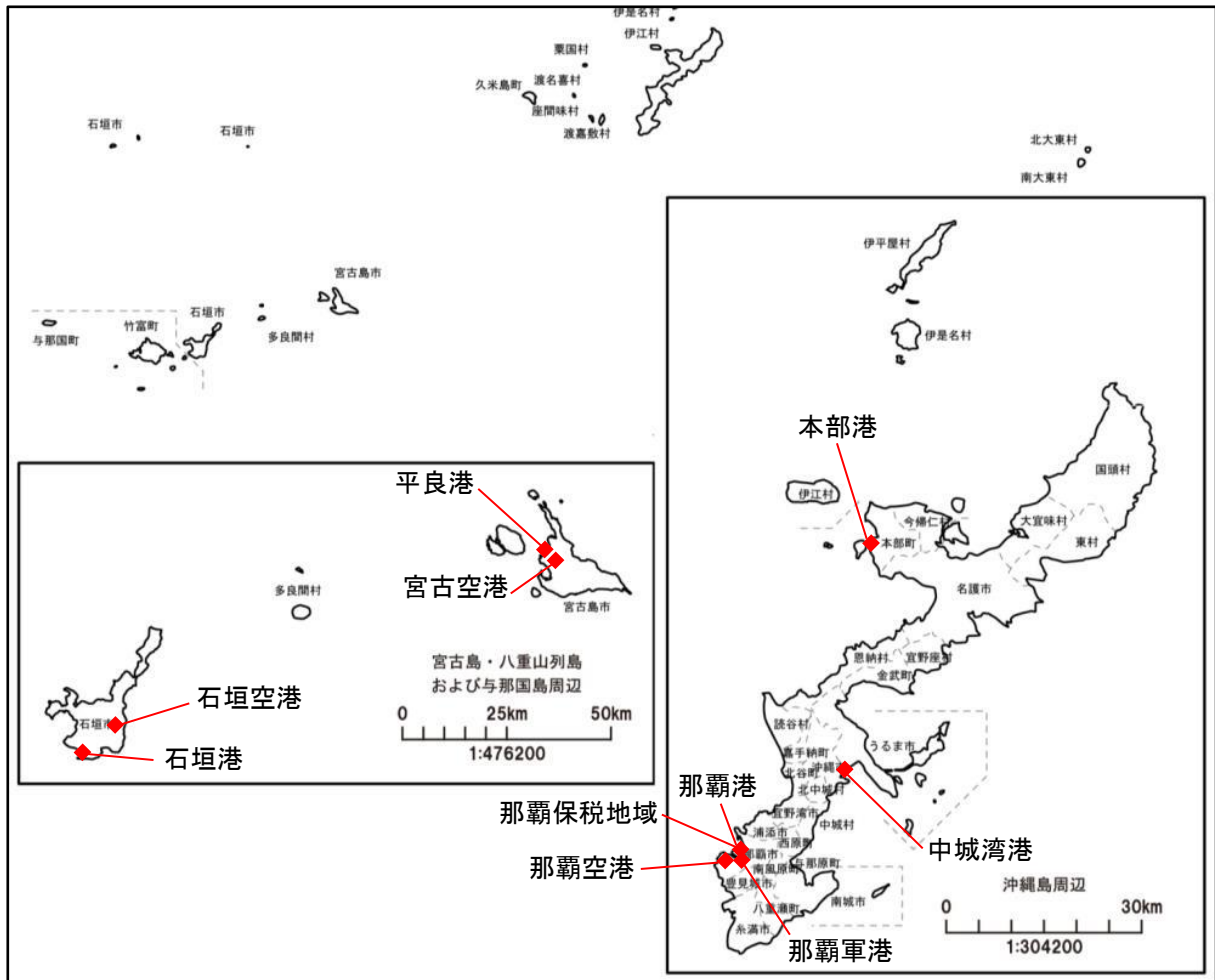


図 5-2.1 調査場所

(2) 結果

セアカゴケグモは、すべての調査場所において確認されなかった。

ハイイロゴケグモは、すべての調査場所において確認された。確認したハイイロゴケグモは全て殺処分した。

表 5-2.2 ゴケグモ類の確認状況

調査場所	セアカゴケグモ	ハイイロゴケグモ
本部港	確認無し	確認有り
中城湾港	確認無し	確認有り
那覇港	確認無し	確認有り
那覇軍港（周辺）	確認無し	確認有り
那覇空港	確認無し	確認有り
宮古空港	確認無し	確認有り
平良港	確認無し	確認有り
石垣空港	確認無し	確認有り
石垣港	確認無し	確認有り

【本部港】

ハイイロゴケグモの確認場所 (●) (※セアカゴケグモは確認されていない)



地理院タイルに追記



建物壁の通気口



通気内で確認した卵囊

【中城湾港】

ハイイロゴケグモの確認場所（●）（※セアカゴケグモは確認されていない）



地理院タイルに追記



倉庫壁で確認した場所



鉄筋枠で確認した卵囊および個体（↑）

【那覇港（その1）】

ハイイロゴケグモの確認場所（●）（※セアカゴケグモは確認されていない）



地理院タイルに追記



那覇港：放置車両下で確認した場所



那覇港：放置車両下で確認した卵囊



那覇港：新しい倉庫内で確認した場所



那覇港：壁側で確認した個体（↑）および卵囊

【那覇港（その2）・那覇軍港（周辺）・那覇空港】

ハイイロゴケグモの確認場所（●）（※セアカゴケグモは確認されていない）



地理院タイルに追記



那覇軍港（周辺）：陸橋下で確認した場所



那覇空港：空港駐車場で確認した場所



那覇空港：壁の隙間で確認した卵囊および個体（↑）

【宮古空港】

ハイイロゴケグモの確認場所 (●) (※セアカゴケグモは確認されていない)



地理院タイルに追記



建物隙間で確認した場所



建物隙間で確認した個体 (↑) および卵囊

【平良港】

ハイイロゴケグモの確認場所（●）（※セアカゴケグモは確認されていない）



地理院タイルに追記



柱隙間で確認した場所

【石垣空港】

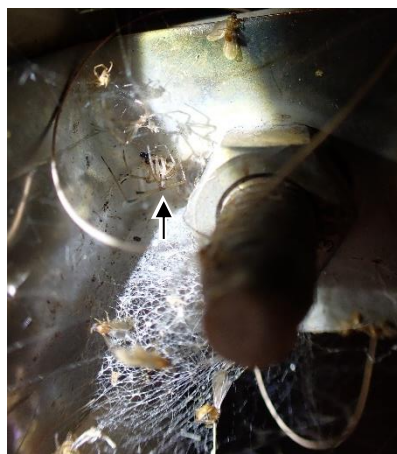
ハイイロゴケグモの確認場所（●）（※セアカゴケグモは確認されていない）



地理院タイルに追記



排水管横で確認した場所



排水管横で確認した個体（↑）

【石垣港】

ハイイロゴケグモの確認場所（●）（※セアカゴケグモは確認されていない）



地理院タイルに追記



倉庫内で確認した場所



確認した卵囊

5-3. 初期防除

今回の調査ではセアカゴケグモは確認されず、初期防除は実施していない。今後、セアカゴケグモが発見された場合、以下の流れで発見場所にて対応した後、拡散防止のために資材の搬入経路の確認を行う。

- ① 施設管理者への周知
- ② 発見個体の駆除。スプレー殺虫剤の散布。巣の除去。
- ③ 発見場所での資材等の搬入経路の確認

5-4. 周知等

今年度、市町村から1件、事業者等からクモ類について2件の確認依頼があった。確認したクモは、イエオニグモやハイイロゴケグモであった。



写真 5-4.1 ハイイロゴケグモ（黒化型）

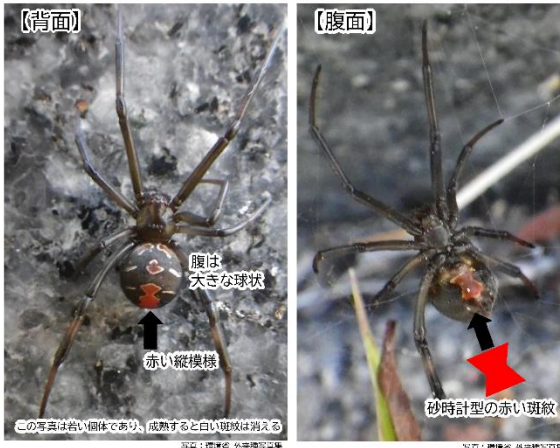
事業者提供資料

また、調査時に侵入監視用の資料を作成し、配布した。

侵入警戒中！ セアカゴケグモ



沖縄県では、セアカゴケグモを特に侵入を警戒すべき外来種として、重点予防種に指定しています。セアカゴケグモと疑わしいクモを見かけた際は、ご連絡をお願いします。皆様のご理解、ご協力をお願いします。



連絡先

- 請負者
一般財団法人沖縄県環境科学センター 担当：小笠原・末吉
E-mail: info-alien@okikanka.or.jp TEL: 098-875-5208
- 発注者
沖縄県 環境部 自然保護課 担当：下地・和宇慶 TEL: 098-866-2243
- 外来生物法 所管
環境省 沖縄電美自然環境事務所 外来生物担当 TEL: 098-836-6400

和名・学名	セアカゴケグモ ・ <i>Latrodectus hasseltii</i>
原産地	オーストラリア
指定状況	特定外来生物（外来生物法） 重点予防種（沖縄県対策外来種リスト）
分布状況	国内各地。沖縄県内では1996年に米軍施設内のコンテナ内で確認されたことがあるものの、野外での定着は確認されていない。
生息場所*	日当たりが良く、暖かいところ。昆虫などの餌が豊富にあるところ。 巣を張るのに適当な隙間があるところ。 ・雨水側溝等のグレーチング ・フェンスの隙間 ・ブロックの穴 ・擁壁などの水抜き穴 ・石段・窓の出っ張り ・ベンチの裏 ・植木鉢のふち ・建物と壁の隙 ・自動販売機の下 など

*参考：どうしたらいい？セアカゴケグモの駆除方法。福岡市



※ゴケグモは攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります。毒がありますので、素手で触らないようご注意ください。

※港湾等にある事務所周辺、県外からのコンテナ内や荷物にセアカゴケグモと疑わしいクモや生き物が見つかった場合は、ご一報ください（裏の連絡先まで）。

【コンテナからの発見事例！】

令和4年2月。台湾から運ばれたコンテナ内に生きたカエルが見つかりました。見つかったのはホンコンシロアゴガエル。日本国内にはいない種類です。関係者の方々の適切かつ迅速なご報告により野外への侵入を防ぐことができました。



写真・情報提供：沖縄県環境科学センター

図 5-4.1 セアカゴケグモの周知用資料